



**2017 J2 順位表 第 06 節**

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	東京 V	15p	9	1	+8	A●
2	名古屋	13p	12	6	+6	A△
3	長崎	13p	11	5	+6	
4	湘南	13p	7	4	+3	
5	徳島	12p	7	4	+3	
6	福岡	11p	7	5	+2	
7	横浜 FC	11p	5	4	+1	H●
8	松本	10p	7	4	+3	H●
9	大分	10p	6	4	+2	
10	千葉	8p	7	8	-1	
11	岡山	8p	6	7	-1	
12	水戸	7p	7	8	-1	
13	山形	7p	4	5	-1	
14	讃岐	6p	8	7	+1	
15	町田	6p	6	7	-1	AO
16	愛媛	6p	4	5	-1	
17	岐阜	5p	5	7	-2	---
18	金沢	5p	5	9	-4	
	山口	5p	5	9	-4	H△
20	熊本	5p	6	11	-5	
21	京都	4p	6	9	-3	
22	群馬	0p	2	13	-11	

**次回 Home Game**

第 10 節 vs. ツエーゲン金沢

4/29 (土) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホムラン** TEL. 058-263-5201  
名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り) 年中無休 午後 3 時から営業

**Living in Woods**  
本庄工業株式会社  
<http://www.honjo-woodream.com/>

**岡田歯科医院**  
岐阜市加納新本町 1-23  
tel: 058-273-8998

**ALADDIN**  
何も無い店だけ...  
心の花が咲く...  
何も無い店だけ...  
心癒される...  
忘れかけていた喫茶店がある  
岐阜市昭和町 3 丁目 (木ノ本公園東)

today's guest : 水戸ホーリーホック

2016 J2 10勝18分14敗 勝ち点48:13位

直近の対決と結果

2016/07/16
J2-23節 @ K s スタ
<b>水戸 1-0 岐阜</b>

ここ 3 試合の公式戦の結果

FC岐阜	水戸ホーリーホック
2017/04/01 J2-06節 @ 町田 町田 0-1 岐阜	2017/04/01 J2-06節 @ K s スタ 水戸 1-1 山口
2017/03/25 J2-05節 @ 味スタ 東京 V 1-0 岐阜	2017/03/25 J2-05節 @ K s スタ 水戸 1-0 愛媛
2017/03/19 J2-04節 @ 長良川 岐阜 1-2 横浜 FC	2017/03/18 J2-04節 @ パロ瑞穂 名古屋 2-1 水戸

●戦術の意図が見える“良いサッカー”を続けながらも、なかなか結果が出ない今シーズン序盤の FC 岐阜。しかし、3/19 (日) 第 4 節・横浜 FC とのホーム戦では、結果もさることながら内容でも今ひとつチームのパフォーマンスが上がらず、PK を得て先制したものの失点を重ねて 1-2 と、今季初の逆転負けを喫してしまった。続くアウェイでの 3/25 (土) 第 5 節・東京 V 戦では、今シーズン好調のヴェルディ相手にお互いに譲らない試合を展開し、チーム戦術が向上していることを実感させたが、守備のわずかな隙を突かれてスーパーゴールを決められて、0-1 での敗戦。これで 5 試合を経過して未勝利・3 連敗。チームが危機感をもって臨んだ 4/1 (土) 第 6 節・アウェイ町田戦は、相手の激しいチャージや状態の悪いピッチに苦しんだが、#24 難波宏明の見事なヘディングで先制、その後は何度もピンチを迎えながらも粘り強く守りきり、ようやく今季初そして大木監督体制での初勝利を手に入れることができた。

これで、FC 岐阜の成績は 6 試合で 1 勝 2 分 3 敗・5 得点 7 失点で勝ち点 5。現在は 17 位で前回のホーム戦と順位には変動がないのには、やはり初勝利での勝ち点 3 が大きい。一方で、6 試合で勝ち点 5 というのは過去 3 年間の“J2 残留ライン”である「平均で 1 試合勝ち点 1」の基準も満たしておらず、現状を不安視する声もあるだろう。しかし、これまでの 6 試合の対戦相手を見ると、敗けたのは (現在) 首位・7 位・8 位、引き分けは 2 位・18 位、勝利は 15 位だという事実を考えれば、それほど酷い成績でもないと思われる。まだシーズンが始まったばかりのため、10 位・千葉から 20 位・熊本までの勝ち点差はわずかに 3 と、1 試合の結果次第で簡単に順位が入れ替わる状況だ。もともと大木監督のサッカーはチーム・選手たちに浸透するまでに時間がかかることで知られている。初勝利という結果を出したことで、選手たちも自分たちのサッカーに確信を持つことができただろう。ここから着実に勝利を、そして勝ち点を積み上げていくことができれば、チーム状態は上向きになるだろう。その為にも、今節は連勝そしてホーム初勝利を何としても掴み取りたいところだ。

その今節の対戦相手は水戸ホーリーホック。昨年は苦しみながらも 13 位の成績を残し、西ヶ谷隆之監督 3 年目となる今季は現在 12 位のチームだ。先ほども述べたように、この中位の相手から勝利を掴めるかという点でも、今後の鍵となる重要な試合になるだろう。水戸との通算対戦成績は 9 勝 4 分 7 敗、30 得点 29 失点と若干勝ち越しているのだが、過去 3 年間での対戦では 2 勝 1 分 3 敗、6 得点 9 失点と逆にわずかに負け越している。昨年のホーム戦・3/26 (土) 第 5 節を 1-0 で勝利した (そして 3 連勝を達成した) 時を思い出し、選手たちも僕らサポーターもいいイメージで試合に臨みたい。水戸の要注意選手は、まずは今季すでに 3 得点を挙げている #8 林陵平を挙げたい。この大型 FW が素早く岐阜の DF 網に割り込んでくるのは想像に難くない。また、#38 前田大然も 2 得点。守備の連携ミスで失点を重ねている岐阜としては、しっかりとケアしたい選手だ。また、#10 佐藤和弘は多治見市出身の選手で、地元・岐阜への凱旋に気合いが入っているだろうし、(金沢で同僚だった) 岐阜の #7 田中パウロ淳一とのマッチアップにも注目したい。一方の岐阜としては、やはり (2013 年に水戸に在籍していた) #24 難波宏明に注目だ。熱く燃える男が 2 試合連続ゴールを決めて勝利に貢献し、そして久しぶりにホームでの“難波劇場”でスタジアムを熱くしてほしいところだ。そして今節は、恒例となったアニメとのコラボ「アニ × サカ!!」「のうりんコラボマッチ」でもある。チームに春の訪れを告げる勝利を手に入れるため、僕らサポーターも、最後まで勝利を信じて、拍手と声援で選手たちの後押しとなる応援をしよう。そしてその熱い熱気は、チームの“開花宣言”となる、今季ホーム初勝利をもたらしてくれるはずだ。(ささたく)

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は JR 岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。休: 月曜日

**投稿募集 !!**  
gidaidohri@gmail.com

## 【第4節】岐阜 1-2 横浜 FC

●サッカーは得点の多さを競うスポーツ。決して、技術点や芸術点、印象点を競うスポーツではないということを改めて実感した次第。そんな試合だったなあ。ボールを相手より長い時間支配し、パスを繋ぐのは得点を取るための戦略であって目的ではない。アタマでは理解してるんだけど、そんな内容で横浜にやられてしまったのは、ちょっと不愉快だ(苦笑)。それでも、幸先よくPKをキャプテンが決めて初ゴール！それはよかったんだけど、自滅に近い形で同点に持ち込まれて後半へ。自分が考えるこの試合の最大の分岐点。それは、後半開始早々の大本の決定機かな？と。アレを決めるか、決めないか。そこだよな。

やりたいこと、やろうとしてるものの相互理解はできていると思う。あとは仕掛けと仕留めをどうするか？ソコが肝心なんだけど。せつかく、一万人を超えるお客さんが来てくれただけでもったいない。この悩ましさと、当分おつきあいなさきゃならないかもしれないなあ……。でも、ひよっとすると、次の相手とはうまくかみ合うかもしれない。それを楽しみに味スタへ向かおう。

(ぐん)

●いきなり痛苦的な自己批判とともにカムアウトする。観戦中に長良川の岐阜戦ではいつ以来だかわからないくらいの大あくびをした。序盤から感じていた『窮屈』が、後半なかばからは『退屈』に変わった。今季のFC岐阜が目指している「ポゼッション志向サッカー」が最悪のカタチで完成しつつある、のかもしれない。

試合後の選手や監督のコメントからもそれは明らかだ。「ボールを回していたのか？回させられていたのか？」というド直球の質問に、庄司は「回していた」との認識を示しているが、横浜FCの選手は「回させていた」とコメントしている。「見た目」と「実際」で主導権ホルダーが違っていたわけだ。そして、試合の中継情報によればFC岐阜の枠内シュートは1。おそらく後半の永島のミドルだろうが、大木監督はこのシュートに対して「あのあたりから崩せる、そこからもう一度スルーパスが出るような状況ができればいいな」とコメントしていて、ぼくはびっくりしてしまった。ゴール正面からほぼフリーでシュートを撃っているのに、さらに「パス」「崩す」を求めるとは……。 「パスをまわす」のは、出来るだけいい条件(ゴールを奪いやすい環境)でシュートを撃つための『手段』なのだが、もしかしたら「パスをまわす」ことが『目的』になってしまっているんじゃないか？なんてことすら思ってしまう。いまのFC岐阜は、「いいサッカーをしている」とは、とてもじゃないが言えない。「いいサッカーを目指している」のは間違いない。もちろん、時間をかければその「いいサッカー」は完成するだろう。しかし、完成した時には既に降格が決まっただけで、「さあ、J3でこのパスサッカーを開花させよう！」なんて悪い冗談になってしまう可能性だって、現状では否定できない。「いいサッカー」が完成した時には、その「いいサッカー」への対策だって完成しているかもしれないのだ。

昨季までのような「どこに『夢』を探せばいいのか」という状況とは違う、「この『夢』を追い続けていていいのか」という、漠然とした不安。提示された『夢』が耽美な分だけ、実は昨季より状況は深刻なのかもしれない。

(吉田鑄造)

## 【第5節】東京V 1-0 岐阜

●前節・ホーム横浜FC戦では、中盤ではボールを支配できるものの、そこから相手の守備をどのように崩すのか。パスのリズムがショートパスばかりで単調になり、あるいは相手DFが戻る時間を与えてしまってシュートで攻撃を終わるま

での道筋が作れないといった課題が、改めて浮き彫りになってしまった。この反省を活かしてゴールを奪えるのか、それがこの試合の注目点の一つだったと思う。そして、間違いなく岐阜は修正してきた。だけど悔しいことに、それ以上にヴェルディの調子が良かった。昨シーズン最終戦を思い起こすまでもなく、不本意ながらJ2残留争いをしてきた両チームだけど、今年のヴェルディは4試合で3勝しかも無失点で3連勝中と絶好調。岐阜のパス回しに素早く前からプレッシャーをかけてボールを奪ったり、あるいは(岐阜ほどじゃないけれど)素早いパス回しで岐阜の守備を崩しにかかる。「おいおい、ヴェルディってこんなに良いチームだったっけ！？」って声に出してしまったけれど、たぶん、今年対戦したチームのサポも、僕らをそう言ってるんだろうなあ(苦笑)。そして、それはやはり、両チームの監督の指導や采配が大きく影響しているのだと思わざるを得ない。やっぱり少しばかり選手にお金をかけるよりも、監督にお金をかけた方が選手も成長するし、少しばかり環境が悪くたって、良い選手が来てくれるのかもしれない。ちなみに、好調ヴェルディを率いるミゲル監督はスペイン人。徳島の監督もスペイン人だし、ウチにもスペイン人選手(シシーニョ、ビクトル)がいるし、今年のJ2はスペインブームなのかしら？

横浜FC戦とは異なり、何度か惜しいシュートシーンも演出できたが、ただあそこで決めないと逆にゴールを奪われてしまうのがサッカーの常。3試合連続ゴール中の#7アラン・ピニエイロに、わずかな守備の隙を突いた技ありのゴールを決められ、そのままタイムアップ。悔しい3連敗だけど、あと少しで光明が見える、そんな手応えを感じさせてくれる試合でもあった。

(ささたく)

●あの日以来の東京V戦現地、あの試合以来の味スタ。あの時の悪夢を振り払って、清めてやりたいと思っていたけど願いは叶わず。掴みかかった今季初勝利はまたしてもお預けとなってしまう。でも、結果には納得せざるを得ない。敗因は、よく見聞きする慣用句に尽きる。決定力の差、と。

内容的には松本戦、横浜戦よりよかったと思う。もともと、がちり固めるタイプの松本、それに準じた横浜と比べ、この日の相手は東京V。攻撃を仕掛けてこないワケがない。そして、チャンスは十分にある。そう思っていたし、実際に宏矢からナンちゃんにトップが替わって、積極的な縦パスがいいアクセントになっていたようにも思う。向こうの最終ラインは戸惑った場面、慌てた場面もあったのではないかな？ただ、向こうのFWは、これ以上ないという軌跡を描いてゴールを決めた。ウチは枠にも飛ばせなかった。ただ、それだけ。それ以上でも、それ以下でもない。そして、それを決め切ることが出来るかどうか。それが今後を分けていきます。クラブとしても、選手個人としても、ね。そういう場面で決めきれなかった選手(決めたのに、それを奪われた選手)を何人も見てきました。少なくとも枠内へ、だよ？もっと、シュート練習しよう、11番。キミならヤれる。そう信じてる。それと、7番もな。それにしても、なんで前半のあの攻撃でシュートが決まらなかったんだろう？向こうのDFをほめるべきか。試合後の向こうの監督のコメント。外国の方なんで社交辞令も含んでるんだろうなとひねくれつつ、もしかすると、彼が言うような「負けにふさわしくない内容」だけれども結果が出ないまま、今季が……という懸念もないではない。それでも、昨季までのような光の見えない感じ、押し潰されそうな、カラ元気があるような……。そんな感覚はありません。それが良いことなのか、そうでないのか？は、わかりませんが。まあ、13年のような「開幕7戦末勝利無得点」よりはずっとマシです。でも、できれば4月中には勝ってくれるとウレシイな。その今季初勝利を見届けるために、次節も東京へ向かいます。で、どうしたんだ？宏矢は。気になります！

(ぐん)

## 【第6節】町田 0-1 岐阜

●アウェイ・野津田の芝がかなり荒れているのを見て、僕は試合開始前から不安になった。ショートパスを繋ぐスタイルの岐阜にしてみれば、でこぼこのピッチではパスの精度が落ち、あるいは不規則にボールが跳ねて相手に奪われる危険性が増大する。一方の町田は、激しいプレスでカウンターを狙うチーム、岐阜の不利は明らかだ。この荒れたピッチ、パスサッカーを防ぐためにわざとじゃないのか…って思ったぐらいだ(苦笑)。

案の定、岐阜の選手たちは野津田の荒れたピッチに苦しめられた。また芝が悪いなりにボールを出しても、町田の素早く激しい守備で転倒させられ、パスが繋がらない。だけど、そんな状況に対応するためか、これまでより縦へのロングパスを利用する岐阜の選手たち。だけど、逆にショートパス一辺倒じゃなくて緩急や長短を織り交ぜた方が、相手の守備網が整う前に崩すという点では効果的じゃないかなと感じた。というものの、やはりパスを奪われてカウンターを受け、危うく失点しかねないシーンも何度か。これをことごとく防ぎきった、#25 GKビクトルの神があったセーブときたら！まさに「守護神」として「神様仏様ビクトル様」と拝みたいぐらい(笑)。MVPは彼で決まりだろう。

そしてまた、得点シーンも見事だった。#11 古橋亨梧が競り合って体勢を崩されながらも倒れずに中央に鋭いクロスを上げ、これを飛び込んできた#24 難波宏明がヘッドで「ここしかない」という位置、GKの手の届かない位置にボールを逸らしての、まさにゴラッソ！！今節のベストゴール&ベストセーブに入るようなプレーが生まれ、ようやく今季初勝利を手に入れることができた。

もちろん、攻撃面でも守備面でも課題は残っているし、今節も何とか勝てたという印象が強い。だけど、勝利という結果が出せたのはチームにとって大きな自信に繋がるだろう。油断は禁物だけど、今後のチームの成長に期待します！(ささたく)

●試合後はバスで町田駅に向かう予定だったが、観戦仲間のお言葉に甘え、車に同乗。試合の感想戦が弾むのは当然の流れの中で、彼が「途中ですれ違った町田のサポが、岐阜のサッカー、すげえ！、って言ってましたよ。」と笑ってから継いだ言葉が「今季最低の内容だったのにな。」と。思わず、笑いを禁じ得なかったが、それを否定することが出来なかったのも当たり前前田の試合展開。まるで、昨季以前をなぞっているかのような、ただ蹴り返すだけの守備。そして、当然のごとくセカンド・ボールを拾われ、ただひたすら耐えるだけの時間。え？ボール支配率はウチのが上？前半も？現地・野津田のゴール裏から見た状況は、とてもそんな風には見えなかったんですけどね。とりあえず「楽勝だったね。」と言っておきましょうか？顔をひきつらせながら(苦笑)。いい内容で負け、悪い内容で勝つ。でも、それもサッカー。それがサッカー。とにかく、ビクトル！なんといっても、ビクトル！間違いなく、疑問をはさむ余地なく、この試合のマン・オブ・ザ・マッチは彼で決まりっ！！ペナルティ・エリアの外への飛び出しとクリアが実に果敢。エリア内のセーブは言うに及ばず。文字通り、獅子奮迅の大活躍。得点の前でも、得点の後でも一点取られてたら危なかった。GKが目立つ試合なんて、あんまりない方がいいんだけど、この試合はまさにビクトル様々。お願い、岐阜に家買って？

それにしても、町田、怖かったよ、町田。ひとつ挙げるとすれば、キックオフ直後の町田のシュート。アレを決められてたらヤバかった。そんな気がする。そんな、ヒヤヒヤな展開からの今季初勝利。とにかく、ひとまず、ホッとした。決勝ゴールとなったナンちゃんのヘッド。ネットを揺らすまでの時間の長いこと、長いこと。ボールの描く弧が永遠に続くのかと思ったよ。さらに、得点が決まってから終了の笛までの時間と言っ

たら……。でも、これでもう慣れたよね？

昨季の最終節以来の勝ち星。一瞬「覚えてるか？勝利の賛歌の歌詞？」って思ったし、選手も大幅に入れ替わったけど、ちゃんと万歳四唱出来るかな？と心配になったけど、無事終了。アベちゃんとかが教えてたような気がする。軽口を叩きながらも、ホッとした表情をのぞかせる仲間達を見て、今日ここに来てよかったなと思った。

さて、次は長良川での今季初勝利。過信はないと思う。貪欲に、勝利をつかみに行くよ！(ぐん)

## 【セカンド】天皇杯予選です

●4/2(日)に笠松町の岐阜フットボールセンター人工芝グラウンドにて天皇杯岐阜県代表の選考も兼ねている岐阜県サッカー選手権大会の準決勝が開催されたので、観戦に行ってきました。FC岐阜 Second(以下セカンド)は第1試合でFC Bonboneraと対戦。拮抗した戦いとなった試合でしたが、セカンドが後半開始直後にポンポンと連続得点に成功。追いつがるBonboneraをPKによる1失点でしのぎ切って2対1で勝利し、決勝にコマを進める事となりました。決勝での対戦相手は長良クラブを倒した岐阜経済大学になりました。決勝戦は明日4/9(日)に長良川球技メドウにて13時3分キックオフなので、是非観戦に行ってください。又この試合はNHK総合にて生中継もされるようなので、そちらもどうぞ。(シュナ)

## 【ユース】大垣選抜大会、ほか

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は3/18~20に県内で開催された大垣選抜大会に出場していましたが、予選リーグはFC岐阜ユースも含む県内4チーム共に奮戦むなしく3戦全敗となり、最終日は順位決定リーグに回ってしまいました。対戦相手が強豪校揃いとは言え、出来れば一矢報いたかったですね。残念無念。

一方、チーム公式サイトからFC岐阜ユースが今年も参戦する2017年度G1リーグの日程が関係部分のみですが発表されました。第1節の対戦相手はメジェール岐阜瑞穂FC(以下メジェール)です。メジェールは2001年にクラブが創設され、キッズ、ジュニア、ジュニアユースの年代で活動していましたが、2015年にユース年代のチームを設立し、FC岐阜ユースに続く岐阜県2チーム目のクラブチームとしてGリーグに参戦しました。そしてG3、G2をそれぞれ1年間で通過し、晴れて今年からG1リーグに参戦する事となりました。試合は今日4/8の10時にキックオフしています。ここは先輩であるFC岐阜ユースがしっかり勝って、吉報が届いている事を期待しています。

この後リーグ戦は暫くインターハイ地区予選の為に休みとなり、次の試合は5/3(水・祝)と5/7(日)に予定されています。詳細は4/29発行予定の岐大通にて情報共有させていただきます。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで必ず確認して下さい。

(シュナ)

